

地震・ゲリラ豪雨にみまわれたら！！

先日、大阪北部で震度5強の地震が発生し、多くの被害が出ました。

そこで、車を運転しているときに、地震やゲリラ豪雨のような大雨にみまわれたりしたとき、どのように対処すればいいか、注意点についてご紹介します。

● 車を運転中に地震が発生したら

運転中に揺れを感じたら、まず「大きな地震である。」と思わなくてはなりません。

- ・ ハザードを点灯し、減速して、路肩に停止させる。
 - ※ 急ブレーキは禁物です。追突などを受けることになります。
- ・ 一般的に車を運転中は、地震の揺れは感じにくいと言われています。
- ・ 車内で待機し、携帯やラジオなどで、地震情報、被害情報などを確認する。
- ・ トンネルや橋梁で揺れを感じたら、可能な限りゆっくりと脱出する。

★ 車から降りて避難する場合

- ・ 周囲の道路が損傷したりして、走行ができない場合は、エンジンを切って、窓を閉め、キーはつけたまま、ドアロックをせずに離れる。
 - ※ キーをつけておくことで、緊急車両の通行の妨害となっても移動することができます。

● 車の運転中に豪雨にみまわれたら

最近よく発生する「ゲリラ豪雨」は、瞬く間に水かさが増し、道路が冠水するなど非常に危険です。

- ・ アンダーパスを通行することを避ける。アンダーパスは冠水しやすく、行けるだろうと軽い気持ちで進むと、身動きがとれなくなってしまうことがあります。
 - ※ **アンダーパスとは？**
立体交差で、掘り下げ式になっている下の道路、鉄道や道路の下を通る地下道のこと。

★ 車内に水が入ってきたら

落ち着いて行動することが大切です。シートベルトを外し、ドアを開けて避難する。ドアが開かない場合は、窓をあけて避難する。窓もあかない場合は、フロントガラスではなく、サイドガラスを割る。

- ※ 緊急脱出用ハンマーを万が一に備えて準備しておくといいですね。